

<専任教員報告>

2018 年度教員活動報告

鈴木達治郎 教授 (センター長)

I. 教育

- (1) 担当科目：全学モジュール「被ばくと社会」(責任者)
全学モジュール「核と平和を科学する」(責任者、冨塚明准教授と共同)
「科学者の社会的責任」「核不拡散と原子力平和利用」(全学モジュール I「核兵器のない世界を目指して」) の一部分担

II. 研究

- (1) 主要研究テーマ
- 原子力・エネルギー環境政策
 - 核燃料サイクルと核不拡散問題、多国間管理
 - 核物質管理、核セキュリティ
 - 科学技術の社会的影響評価、科学者の社会的責任
- (2) 著書・論文 (注：research map に掲載する査読付き論文、著書)
- 鈴木達治郎、光岡華子共著、「こんなに恐ろしい核兵器①核兵器はこうして作られた」「こんなに恐ろしい核兵器②核兵器のない世界へ」、ゆまに書房、2018年12月(①)、2019年1月(②)。
 - Tatsujiro Suzuki, “Nuclear Energy Policy after the Fukushima Nuclear Accident: An Analysis of “Polarized Debate” in Japan, IntechOpen, “Energy Policy”, published on line on February 8, 2019.
<https://www.intechopen.com/online-first/nuclear-energy-policy-after-the-fukushima-nuclear-accident-an-analysis-of-polarized-debate-in-japan> (査読付き)
 - 鈴木達治郎、「福島原発事故以降における日本の原子力政策の諸課題」、生田目学文(訳)、ピーター・ヴァン・ネス、メル・ガートフ(編著)、「フクシマの教訓：東アジアにおける原子力の行方」、第1章、pp. 9-25, 論創社、2019年2月。
- (3) 学会誌寄稿、報告書、雑誌・新聞寄稿等 (学術誌、一般誌、新聞を含む投稿論文)
- 『「南北対話」』『米朝会談』成功に欠かせない5視点：今からでも遅くはない、日本も積極的に貢献策を提示せよ』、Web Ronza, 2018年4月11日。
 - Book Review, “Unmaking the bomb: A fissile material approach to nuclear

disarmament and non-proliferation”, *Global Change, Peace and Security, Routledge*, April 22, 2018.

- 「トランプ外交の無謀な賭けーイラン核合意離脱「最悪の決定」が与える米朝核交渉への大きな影響」、Web Ronza, 2018年5月14日。
 - 「プルトニウム管理の論点(上):新たな国際規範確立の時」、日本経済新聞「経済教室」、2018年7月26日。
 - 「米朝首脳会談の意義と今後の課題」(梅林宏道、広瀬訓、吉田文彦と共著)、RECNA Policy Paper, REC-PP-07, 2018年8月。
 - 「朝鮮半島の非核化新たな検証制度が必要:現実的な核兵器廃止プロセスは、どのように進められるだろうか」、Web Ronza, 2018年8月10日。
 - “Nuclear Security Policy of the Obama Administration- Its Achievements and Issues Left Behind: An Interview with Laura Holgate”, *Journal for Peace and Nuclear Disarmament*, Vol.1, No.2, pp. 486-496. October 2018.
 - 「韓国映画に見る「市民力」のたくましさ:「1987 ある闘いの真実」と「タクシー運転手 約束は海を越えて」、Web Ronza, 2018年12月11日。
 - 「事故処理費用、40年間に35兆~80兆円に:廃炉見送り(閉じ込め・管理方式)も選択肢に」、(岩田一政、小林辰男、小林光と共著)、日本経済研究センター報告書、2019年3月7日。
 - 「震災8年、ますます失墜する『原子力への信頼』:迷走する原発政策に、社会の監視・評価能力を高めよう」、Web Ronza, 2018年3月11日。
- (4) その他(学会発表、国際会議発表等)(注:いわゆる専門家・学術的講演、発表)
- “Possible Options for International Management of Plutonium Stockpile”, The 3rd Panel on Peace and Security of Northeast Asia (PSNA), Moscow, May 31-June 1, 2018.
 - “Prospects for Nuclear Weapon Free Northeast Asia: RECNA’s Approach and ‘Nagasaki Process’”, “Nuclear Waste and Spent Nuclear Fuel Problem; Issues for Global and Japanese Nuclear Power Programs”, International Physicians for Prevention of Nuclear War (IPPNW) North Asia Regional Conference, Mongolia, September 12-14, 2018.
 - 「核兵器廃絶にむけてー現状と課題」、第62回香料・テルペンおよび製油化学に関する討論会(TEAC)特別講演講師、2018年10月14日。
 - “Public Perception on Nuclear Safety and Security: Changes after the 3/11 Nuclear Accident”, 東京大学国際ワークショップ “Managing Uncertainty and Unprecedented Events” 講師, 2018年10月26日。
 - “Nuclear Energy Governance in Japan: Lessons learnt from the Fukushima accident”, *RSIS Roundtable on Nuclear Energy Development in Southeast*

Asia: Emerging Challenges and Opportunities, December 13, 2018.

- “Nuclear Energy Policy in Japan – Lessons learnt from the Fukushima accident”, “Towards Northeast Asia Nuclear Weapon Free Zone (NEA-NWFZ: Don’t miss this opportunity”, EuroPugwash meeting, February 28-March 1, 2019.

III. 社会貢献

(1) 一般向け講演、公開講座 (注: 市民講座や一般向け講演)

- 「核燃料サイクル問題を考える」、日本弁護士連合会シンポジウム、2018年4月19日、東京都日本弁護士連合会ビル。
- 「北東アジアの非核化と安全保障」、核兵器廃絶市民講座、2018年5月26日。
- 「核兵器廃絶に向けて一現状と課題」、東京大学教育学部附属中等教育学校講師、2018年6月28日。
- 「プルトニウム問題: 核物質から見た核軍縮・不拡散」、日本パグウォッシュ会議公開連続講座「核の脅威削減に向けて」講師、2018年7月13日。
- 「核兵器廃絶に向けて一現状と課題、私たちにできること」、ピースナオナガサキ2018、講師、2018年7月14日。
- 「日本の核のトリレンマ: 核廃絶、核抑止、核燃サイクル」、広島市立大学広島平和研究所主催国際シンポジウム「平和への扉を開く一核兵器禁止条約とこれから」講師、2018年7月22日。
- 「日本の核のトリレンマ: 核廃絶、核抑止、核燃サイクル」、「原発と人権」全国研究・市民交流集会第4分科会「核兵器と原発」講師、2018年7月29日。
- 「核をめぐる最近の国際情勢: 対立か、協調か」、連合2018 平和ナガサキ集会 講師、2018年8月8日。
- 「プルトニウム問題と日本の核のトリレンマ」、日本パグウォッシュ会議、世界宗教者平和会議日本委員会共催公開シンポジウム「核の脅威削減にむけて」講師、2018年9月29日。
- 「原子力政策の改革: 福島を教訓を踏まえ、二極対立を超えよ」、佐賀新聞労働組合「市民対話集会」2018「原発報道のいま」講師、2018年10月13日。
- 「核兵器廃絶にむけて一現状と課題」、日本非核宣言自治体協議会主催「U-40世代の交流によるネットワーク拡大事業」講師、2018年11月15日。
- 「朝鮮半島の非核化から北東アジア非核兵器地帯へ: この機会を逃すな」、第6回核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ第1分科会パネリスト、2018年11月16日。
- 「核の非人道性と科学者の社会的責任」、京都造形芸術大学文明哲学研究所・(財)信頼資本財団共催; 第2回地球未来シンポジウム「核と鎮魂 II~文明

の終わり始まり〜」 講師、2018年11月24日。

- 「使用済み燃料対策の総合評価が必要」、衆議院原子力問題特別調査委員会参考人陳述、2018年12月7日。
- “Towards Northeast Asia Nuclear Weapon Free Zone (NEANWFZ):Don't Miss This Opportunity”, 新外交イニシャティブ主催シンポジウム「東アジアの平和を問うー北朝鮮の非核化と移り変わる米中関係」講師、2018年12月13日。
- 「吉岡斉の仕事を考えるー官僚と専門家」、公開シンポジウム「吉岡斉の仕事を考える」、2019年1月20日。

(2) メディア対応

- 「核抑止の効果に疑問：地域全体の非核化目指せ」、週刊東洋経済、2018年6月2日、p.11。
- 「核廃絶、現実の政策に」、「赤旗」、2018年7月29日。
- TBS サンデーモーニング、「福島廃炉の現状と課題」、2019年3月10日。
- オーストラリア公共放送(ABC) ラジオ、“Late night live” 生出演、2019年3月26日。
- この他、長崎新聞、西日本新聞、朝日、日経、毎日新聞、等の取材件数、89件(別添資料参照)。

(3) 地域活動(長崎における地域貢献活動)

- 長崎大学における感染症研究拠点整備に関する地域連絡協議会委員。
- 核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会委員。
- 長崎市平和宣言文起草委員会委員。
- 長崎市「平和の誓い」選定審査委員会委員。

(3) 外部委員(その他政府や外部機関の依頼による委員活動等)

- 日本経済研究センター 特任研究員。
- パグウォッシュ会議評議員。日本パグウォッシュ会議代表。
- 日本軍縮学会理事。
- 日本科学技術振興機構社会技術研究センター 運営評価委員会(座長)。
- 衆議院原子力問題調査特別委員会 アドバイザリーボードメンバー。
- 外務省「気候変動に関する有識者会議」委員。

IV. 校務分掌

- 教育研究評議会委員
- 研究連絡調整会議委員
- 人事委員会委員
- 財務委員会委員